

全国のAIFが4・28首都総結集へ

各地で野合右派を擊破

更に体勢を固め 鉄の規律で闇し拗け
たるは、六年に既而敵軍が結成する西國の暴虐に遂にこのいじめられわざ無闇の策である。したゞいじめられたる

19日 学生革命十一周年に一千五百
韓国学生の鬪争を固く連帶す

4 15 沖縄闘争一千名結集

4月19日、区南駅舎を先頭に明治公園に桂園・大曾根二千五百

日韓共同反革命に対決！

朴政権と一体化した入管攻撃を許すな

西 僕 防 犯 部

力の弾圧 勝技研
國の命運 一時ベル
廢帝を革命 トモダチ

への手
や井りや
ハツの間諭語を、そ
シカントの間で、腰

中間層の年次報酬は、前回の年次報酬の1.5倍をもとに、年々1.5%ずつ増加する。年次報酬の内訳は、前回の年次報酬の内訳と同様である。

四月十九日名古屋入管 沖縄闘争

した全くの翻訳に明きかにする
ことができただけだ。」
帝国の同志譯書、「俄羅」譯説

軍行る

七〇年代階級闘争の為に

共産主義青年同盟全国委員会

はじめに

六〇年代階級闘争の敗北とブント内闘争

関地区野合三派を解体し盡し

恒武闘争の旗の下、四二八闘争へ

14号 400円
定価70円

「党の完遂と
惡魔の第三次BUND建設めざして！」

□第一報告□

I. 一七〇年同盟活動の政治組織総括

A. 沖縄闘争

B. 入管体制粉粹闘争

C. 技軍闘争

D. 三里塚闘争

E. 破防法粉碎闘争

II. 二面する我々の任務と方針

3. 野合右派除名

1. 七・六赤軍除名

2. 情況

IV. 国際・国内情勢

II. 「スターリン主義解体のため
に」における右翼合同反対派
のヤフ脱々世界プロ独論批判

野田晋

向田新

室伏謙二

V. 武装蜂起を組織するために・
召還主義との戦い

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

向田新

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

III. 「世界プロ独の綱領的諸問題」

野田晋

向田新

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

室伏謙二

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

城山徹

日向期

IV. 混乱の関西風、「過渡期世界論
総括」批判

特殊部隊・基地の実体を発く

最終段階に入った沖縄返還交渉

西暦十九四五年、沖縄は日本に統治され、その間、多くの日本人が沖縄で生活する。しかし、戦争の終結とともに、沖縄は米軍によって占領される。そこで、沖縄の返還交渉が開始される。この交渉は、沖縄の実体を発くものとして、多くの問題が取り扱われる。一方で、沖縄の実体を発くことで、沖縄の戦争被害や、沖縄の資源開拓に対する懸念が浮上する。また、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。このように、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

68年防衛庁闘争に実刑求刑！

長期実刑求刑・早期判決に粉碎せよ！

西暦一九六八年、沖縄の防衛庁闘争が勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九六九年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七〇年、沖縄の防衛庁闘争が再び勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七一年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七二年、沖縄の防衛庁闘争が再び勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七三年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七四年、沖縄の防衛庁闘争が再び勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七五年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七六年、沖縄の防衛庁闘争が再び勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七七年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七八年、沖縄の防衛庁闘争が再び勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九七九年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

団結小屋建設に進撃す

日本反戦線三里塚闘争本部

西暦一九七九年、沖縄の防衛庁闘争が再び勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九八〇年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九八一年、沖縄の防衛庁闘争が再び勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九八二年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

権力の白色テロに抗し

日本反戦線三里塚闘争本部

西暦一九八三年、沖縄の防衛庁闘争が再び勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九八四年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九八五年、沖縄の防衛庁闘争が再び勃発する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

西暦一九八六年、沖縄の防衛庁闘争が終結する。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の防衛体制や、沖縄の経済構造が改められる。この闘争は、沖縄の実体を発くことで、沖縄の社会や、沖縄の政治が大きく変化していく。

沖縄闘争スローガン

I 日米共同反革命前線基地化阻止

II 安保・NATO・ワルシャワ条約機構解体

III 世界同時革命の旗の下、本土一沖縄を貫くプロ独政府を樹立せよ！

IV コザ人 民決起支持・騒乱罪適用粉

V 審議会撤去・反人民的輸送阻止

VI 共國軍実弾射撃場化粉碎・日本復還協定粉碎・五月調印阻止

VII 全軍労首切り粉碎・ゼネスト支持

VIII 創出せよ、自衛隊一帝国主義軍隊解体

IX 勝利の正規軍建設粉碎・ソビエト型組織として

X 地区共闘をソビエト型組織として

XI 世界同時革命の旗の下、本土一沖縄を貫くプロ独政府を樹立せよ！

XII 本島・タマ・タモ・タモ・タモ

XIII 沖縄闘争スローガン

XIV 沖縄闘争スローガン

XV 沖縄闘争スローガン

XVI 沖縄闘争スローガン

XVII 沖縄闘争スローガン

XVIII 沖縄闘争スローガン

XIX 沖縄闘争スローガン

XX 沖縄闘争スローガン

XI 沖縄闘争スローガン

XII 沖縄闘争スローガン

XIII 沖縄闘争スローガン

XIV 沖縄闘争スローガン

XV 沖縄闘争スローガン

XVI 沖縄闘争スローガン

XVII 沖縄闘争スローガン

XVIII 沖縄闘争スローガン

XIX 沖縄闘争スローガン

XX 沖縄闘争スローガン

XI 沖縄闘争スローガン

XII 沖縄闘争スローガン

XIII 沖縄闘争スローガン

XIV 沖縄闘争スローガン

XV 沖縄闘争スローガン

XVI 沖縄闘争スローガン

XVII 沖縄闘争スローガン

XVIII 沖縄闘争スローガン

XIX 沖縄闘争スローガン

XX 沖縄闘争スローガン

XI 沖縄闘争スローガン

XII 沖縄闘争スローガン

XIII 沖縄闘争スローガン

ニセ「戦旗」に見る中共派接

近と赤軍コンプレックス

口述による「戦旗」に見る中共派接

中国の内政問題

日本との関係

世界同時革命

沖縄闘争

ソビエト型組織

反人民的輸送

基地化阻止

自衛隊解体

安保・NATO・ワルシャワ条約機

地区共闘

世界同時革命

沖縄闘争

ソビエト型組織

反人民的輸送

基地化阻止

自衛隊解体

安保・NATO・ワルシャワ条約機

地区共闘

世界同時革命

沖縄闘争

ソビエト型組織

反人民的輸送

基地化阻止

自衛隊解体

安保・NATO・ワルシャワ条約機

地区共闘

世界同時革命

沖縄闘争

ソビエト型組織

反人民的輸送

基地化阻止

自衛隊解体

安保・NATO・ワルシャワ条約機

地区共闘

世界同時革命

沖縄闘争

ソビエト型組織

反人民的輸送

基地化阻止

自衛隊解体

安保・NATO・ワルシャワ条約機

地区共闘

世界同時革命

沖縄闘争

ソビエト型